

© 発行 中京大学  
〒466-8666  
名古屋市中区八事本町101-2  
■中京大学スポーツ編集局  
(スポーツ振興室内)  
TEL 0565-46-6935  
http://www.chukyo-u.ac.jp



# 中京大学スポーツ

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ



2014 (平成26) 年  
7月25日  
第7号

## 応援プロジェクト スポーツイベント

### Campus<sup>2</sup> 初開催

中京大学の文化会と体育会が企画したスポーツイベントが、7月9日の昼休み、名古屋キャンパスのガレリアで初めて開催された。

タイトルは「つながるChukyo『Campus<sup>2</sup> Can Pass』(キャンパス トゥ キャンパス)」。名古屋、豊田両キャンパスが交流し、一体感を持つ意味をこめた。この通称「Campus<sup>2</sup>」は、中京大学応援プロジェクトの一環として、今後も開催される予定。

チアリーディング部の演技で始まり、西日本インカレ準優勝の男子バスケットボール部がドリブルの妙技、東海リーグで上位を争うサッカー部はリフティング、女子バレーボール部はアタックなど、日ごろ鍛えたプレーの一



端をステージで実演した。また、硬式野球部、アメリカンフットボール部など9クラブの代表が活動を紹介、試合の応援を呼びかけた。

チアサークル・チュウパチャップスも元気な演技でアピール。司会放送部の巧みな進行もあり、ガレリアは集まった学生、教職員の歓声や拍手に包まれた。

多くの学生が集まったイベント会場のガレリア(心理 宮原つかさ撮影)

高谷温子トレーナー(中)が動きをチェックする市川選手(左)と中村選手



## プロも利用 C I S P

### 体の使い方を修正 競技力向上に効果

#### 陸上の市川、中村選手ら

中京大学CISPのトレーニングで競技力を高めた本学出身のプロ選手たちが、国際大会で活躍している。けがのリハビリから、体幹トレーニングの指導、的確な筋肉強化まで、専属トレーナー2人による一連のサポート体制がプロ選手にも有効に機能。CISPは学生アスリートに加え、プロ選手の活動を支える仕組みとして注目されている。

在学中からCISPに通っているのは陸上短距離の市川華菜選手(2012年度体育卒、ミス)と、十種競技の中村明彦選手(同、スズキ浜松ACC)とともに12年ロンドンオリンピック代表を経験し、卒業後、スケーター部のショートトラック4選手を受け入れ、今春からトレーニングを始める。

後の中京大学豊田キャンパスを練習拠点にしている。9月27日開幕のアジア大会(韓国・仁川)にそろって出場する。市川選手の場合、昨年の日本選手権は腰の痛みで走れないほどだった。試合翌日からCISPに通い、「体の使い方、中でも体幹とおしりの使い方を教わりました」。リハビリに続き、臀部の筋肉強化と動作改善をし、「今年に入って速く走れる感覚が戻ってきた」という。5月初めのグランプリ東京の400リレーで好記録を出し、5月下旬の世界リレー(バハマ)に出場。日本選手権七種競技で今年2連覇した桐山智衣選手(13年度体育卒、モンテローザ)も、豊田キャンパスを練習拠点にし、CISPで体の動きの改善に取り組んでいる。

トヨタスケート部も体づくり バランスが改善 CISPは、トヨタ自動車トラック4選手を受け入れ、今春からトレーニングを始める。



西脇崇量トレーナー(左から2人目)の指導を受ける坂下選手(右)と世界選手(左)。左から3人目は寺尾監督

基礎の体づくりでは、滑走時の前傾姿勢で固まっている体の姿勢自体を修正した。同時に、鍛えられた下半身に合うよう、上半身の筋肉を強化している。

坂下選手は「日常生活から姿勢が正しくないと、正しい筋肉がつかない、とわかりました。体のバランスがよくなり、滑走が速くなった」といい、在学中から続ける世界選手も「滑走が安定し、パワーもついてきた」と話す。寺尾・スケート部監督(97年度社会卒)は「体の上下動がなくなり、無駄な動きもなくなった。平昌五輪に向けて、トレーニングを継続していきたい」と話している。

### C I S P (Chukyo Institute of Sports Performance)

アスリートの競技力向上を狙いに、2011年から米国EXOS社(A P社から社名変更)の指導を受け、独自のノウハウを蓄積している。

ハンマー投げの室伏広治・スポーツ科学部准教授が、「日本でコンディショニングのシステムを整えたい」と提唱したプロジェクト。昨年、専属トレーナー2人を配置した。

中京大学体育会の陸上競技、水泳、サッカー、硬式野球、アメリカンフットボールの各部の主力選手を中心に、競技に合った体の動かし方や筋力を強化するトレーニングを指導している。

水泳部の選手は自己ベストを更新、硬式野球部の投手は球速がアップするなどの効果が出ている。

# 清水選手 ジュビロ磐田入団内定



スピードが武器の清水貴文選手。ジュビロ磐田入団が内定している (現代社会3 岩月美奈撮影)

### サッカー まず東海リーグに集中

サッカー部は東海学生リーグ前期の第8節を終えて5勝3敗の4位となっている。例年になく苦戦を強いられている。年末の第63回全日本大学選手権に東海代表として出場できるのは上位3チーム。9月に再開される後期で巻き返しを図る。

そのカギを握る選手の一人がMF清水貴文選手(スポーツ科4、磐田東)だ。リーグを代表するサイドアタッカーで、俊足を武器に相手陣の裏へと飛び出すプレーが持ち味だ。

来季からJリーグのジュビロ磐田への加入が内定している。4月に内定。6月10日にはJFA・Jリーグ特別指定選手に承認され、中大所属のままジュビロの一員として活動できるようにしたい。思い切りの良さが影を潜めている。消極的なプレーが多いのは気持ちの持ち方「上級生が先頭に立たなければ」と4年生の奮起に期待する。

「ただ、今は中京大サッカー部のこと頭がいっぱい。ジュビロで体験し、学んで来たことをチームに持ち込んで刺戟したい。後期は何としても反撃を」と清水選手は4年生が上位進出への戦いの先頭に立つつもりだ。

朝倉吉彦監督は「両者(現代社会2 池尾和哉)」

# 本間選手 日本代表



大学ラグビー部で急成長した本間選手

### ラグビー部初の女子部員

## リオと東京五輪の7人制にも照準

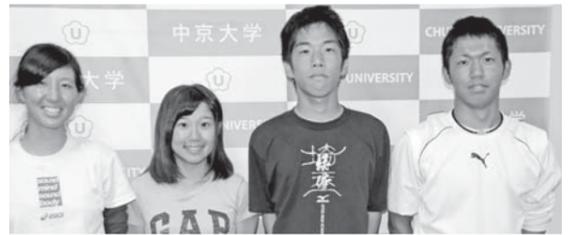
ラグビー部女子部員の本間選手は、現代社会2、5月のアジア選手権本ラグビー協会女子セブン木曾川)は、女子15人制ラ(香港)に出演した。6月

ラグビーの日本代表BKには7人制強化のための日に出された。本間選手は、一つ上のラグビーチーム「名古屋レオ」で週末に活動し

影響で高校1年から、女子ラグビーチーム「名古屋レオ」で週末に活動し

ラグビー部で急成長した本間選手は、現代社会3 林史奈、写

## エース級は次々と「大舞台」へ



加藤、亀井、村田、小川の各選手 (左から)

## アルティメット世界ジュニア 代表に男女4人

イタリヤ北部のレッコで、今月20日から26日までの日程で開かれている2014世界ジュニアアルティメット選手権大会(19歳以下)に、中京大アルティメット部から男女2人ずつの計4人が日本代表として出場している。

スポーツ科学部2年の村田優輔(南山)、小川諒豊(明)、加藤咲希(熱田)、亀井祐里(中京大)の4選手。男子はオープン部門、女子はウィメン部門に出場する。加藤選手はチームの主将を務める。

大会には世界フラインクディスク連盟(WFFDF)に所属する56か国・地域から

## 寺本選手 世界体操へ 10月団体8位以上めざす



体操競技部の寺本明日香選手(スポーツ科1、名経大市部)は、写真1が、中国・南寧で10月に開かれる世界選手権に日本代表として出場する。「ロンドン五輪で団体8位だったので、それ以上を」と意気込みを語った。

寺本選手は2011年の世界選手権で初めて代表入りし、翌年のロンドン五輪では団体入賞のほか個人総合で日本人最高の11位の成績を残した。昨年の世界選手権ではさらに順位を上げて入賞へと一歩の9位となった。

4種目に安定したオールラウンダーで、苦手の種目はないが、逆にながめだが、国内の種目別タイトルにはこれまで縁がなかった。しかし、7月に行われた全日本本種目別選手権で3種目に決勝進出し、段違い平行棒で念願の初優勝を果たした。

寺本選手は「個人戦よりも団体戦にかけたい」ときっぱり話すが、個人総合入賞の期待も大きくなっている。

## 先輩NOW

### 広い視野で気配り



「ありがとうございました」。接骨院内に元気な声を響かせ、岡田院長は一人ひとり患者を送り出していた。午前の受付時間はとくに過ぎ、時計の針は午後1時に近づいていくが、まだ多くの人が治療を受けている。慌ただしい時も笑顔を保ち、患者に声をかけることを忘れない。

「患者さんの様子は一人ひとりが役割だ。そのため周囲への気遣いや広い視野が求められる。」「ギャッチャーというポジションが仕事にも生きていっている」と。

今、同院にはスポーツ選手に限らず、さまざまな症状の多くの老若男女が訪れる。これも野球を通して身に付けた他人への心配りと無関係ではない。

一番嬉しいのは、「患者さんの回復」。逆になかなか治癒しないときは辛い。「そんな時はさらに気合を入れて頑張ります」と力を込めた。現役の学生には、「決めたことを徹底して追求することが大切。また学生のうちに挨拶と笑顔、礼儀をきちっと身に付けてほしい」とアドバイスした。

(心理) 宮原つかさ、写真も

### 接骨院経営 岡田 勉さん

岡田さんは中京大卒業後、野球を続けた。社会人野球チームのある岐阜県内の企業に入った。しかし入社わずか半年でチームは休部。迷った末に医療への道に進むことを決めた。自らも怪我に悩まされた経験があり、同じように苦しむ選手の助けになりたいという思いがあった。

現場で見習いの経験をした後、3年間、専門学校に通い、柔道整復師などの資格を取得した。そして29歳の時、実家を改装して、しらかね接骨院を開院した。

小学校3年の時、近くのリトル

# 秋へ向け意識改革

## 硬式野球 全ポジションでレギュラー争い

硬式野球部は愛知大学春季1部リーグでまさかの最下位となり、入れ替え戦で1部残留を決めた。秋はリーグ優勝はもちろん、昨年の出場決定戦で涙を飲んだ明治神宮大会への出場を目標としている。

今春は、昨秋のリーグ MVPにも輝いた清水翔太投手(2013年度体育卒、日本生命)の抜けた穴が大きかったうえに、複数の故障者もあり、昨年のような攻撃力も影をひそめた。ただ、そんな中で山下大介



若い投手陣をリードする飯田捕手

### 飯田捕手「投手の能力引き出す」

(現代社会2、帝京大可児、山中亨悟(スポーツ科1、菰野)両投手ら若手投手陣がよまウンドを守った。そこで力ギとなる選手の一

秋の飛躍には投手力のさしつかりチェックし、修正していく」と表情を引き締めた。

一方、攻撃面では春季

### 「後ろへつなぐ」かなり浸透

飯田選手は山下投手らについて「高い潜在能力を持っていると思います」と評価し、「投げたいボールをなるべく投げさせながら能力を引き出せるように頑張りたい」と話す。守り全体についても「試合で出るミスは練習でも出ている。しっかりチェックし、修正していき」と表情を引き締めた。

人が飯田達也捕手(スポーツ科3、東邦)だ。半田卓也監督も「若い投手の良さを引き出し、捕手としての自分の勉強もしてほしい」と期待を寄せる。

飯田選手は山下投手らについて「高い潜在能力を持っていると思います」と評価し、「投げたいボールをなるべく投げさせながら能力を引き出せるように頑張りたい」と話す。守り全体についても「試合で出るミスは練習でも出ている。しっかりチェックし、修正していき」と表情を引き締めた。

一方、攻撃面では春季



世界大学選手権を経験した阿曾選手(右)と伊藤選手

## 自転車 ロードレース

# 日本代表で世界を知る

## 阿曾選手。パワー高める必要 伊藤選手

ポーランドで7月9-13日に開かれた自転車競技2014世界大学選手権に、自転車競技部の阿曾圭佑(スポーツ科4、暁)、伊藤杏菜(スポーツ科1、大府東)両選手が日本代表として出場した。

男子ロードレースに臨んだ阿曾選手は96キロを走り切ったが、惜しくもタイムアウトとなり、「同じ年齢でプロの選手が多く、力の差を感じました」と振り返った。しかし、「つかんだことも多い。さらに練習してインカレ優勝に向けて頑張りたい」と前を向いた。一方、初の海外試合の伊藤選手

手は女子タイムトライアル(23歳)で18位、女子ロードレース(66歳)では13位と走走した。

阿曾選手が競技を始めたのは、高校1年の夏。自転車部の親しい友人に勧められ、軽い気持ちで始めた。1年の3月には全国大会に出るまでになり、「自分に合っていたのかもしれない」と高3のインターハイで好成績を収め、沖縄であった国際レースにも招待された。

だが、大学生になって競技に対する考え方が変わった。クラブチームに招かれて国際大会を経験すると、コーナーワークやパワー、意識など外国選手とのレベルの差を痛感した。練習の質も量も向上させ、昨年9月に参加したベトナムのレースでは個人総合2位に入り、自信をつけた。

伊藤選手は、ダウンヒルの選手だった父の影響で小学生のころから自転車競技に親しんだ。高校時代に誘われてアメフト部に入っていた。勝負好きな性格、身長180センチ、体重100キロ超の体格から、自分でも向いていると思った。1年生秋



ラインのリーダー 天野晃良選手

### アメフト けがから復帰、ライン統率

「思い通りの当たりについて嬉しい」。アメリカンフットボール部の天野晃良選手(情報理工3、尾北)は、大けがから復帰し、最前列で攻防を繰り広げるラインのリーダーに抜てきされた。9月開幕の東海リーグで優勝を狙う。

天野選手は、高校まで野球部だったが、先輩に誘われてアメフト部に入っていた。勝負好きな性格、身長180センチ、体重100キロ超の体格から、自分でも向いていると思った。1年生秋

は初めてエリート部門(一般)のロードレースに出場、18位ながら見事完走した。周囲から「よくやる」と讃えられたが、自身「心理3 宮原つかさ、写真も」

た。「パワーやレース展開を読む力を高めることが必要」と課題を自覚、さらなる飛躍が期待されている。

2年の秋にはチーム練習に戻り、今年完全に復調した。「ライン全体で相手の動きを封じ、得点に繋がるプレーをしたい」。ラインは攻撃、守備の両方で重要な役割を担う。攻撃では相手をブロックしてクォーターバック(QB)を守ったり、突破口を作ったりする。

「リーダーとしてのプレッシャーはあるが、自分がやるしかない」。新リーダーが統率するライン陣の活躍が楽しみだ。(総合政

## 先生に問う



回答者 和光理奈・スポーツ科学部講師(舞踊学)



質問 私は体育の教員になりたいと思っています。中学校でダンスが必修になった経緯や役割、特徴を教えてください。(スポーツ科学部1年 村上香菜さん)

### 楽しい生涯へ「中学のダンス必修」

中学校学習指導要領が2008年に改訂され、中学校保健体育において武道・ダンスを含めたすべての領域が必修となった。文部科学省が武道・ダンスを他の種目と並べて必修化した理由は、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する視点から、中学校の段階で多くの領域の学習を体験させたい、という目的からである。

移行期間を経て、12年度より武道・ダンスは中学校1、2年生の男女とも必修となったが、全国の中学校では保健体育の教員がその指導法で苦勞をしている。なぜなら、現場教員が体育教師を目指し

た学生の頃、「男子は武道、女子はダンス」という傾向が強かったため、どちらかの技術や指導法を学ばずに卒業したケースが多いからだ。よって各地域で現場教員向けの武道やダンスの講習会が増えているのが現状である。

ダンス固有の特徴として、「コミュニケーション」と「変身」のキーワードが挙げられる。ダンスは音楽のリズムに乗せて、あるいは独自の間合いを保ちながら、動きを通して仲間と身体を動かす楽しさを味わうことができる。

また、非日常の世界に飛び込み、自分以外の人、物、現象など、それぞれの性質を演じながら身体表現を楽しむことができる。何かの特徴をとらえて表現する過程では、物事をよく観察し、身体表現としての動きを創り出すことで創造力が培われる。これはまた自分自身の新しい一面を発見する力にもなるだろう。創造力はどんな場面でも活用できる重要な能力であるため、初等教育や地域スポーツクラブでも注目されている。

非言語的な心理療法として、ダンスセラピーが心身の調整力を促すという研究も進んでいる。体育教員を目指す人も、そうでない人もダンスによって養われる力を体感してほしい。

中京大学のスポーツ情報 大学HPの「スポーツ」(<http://sports.chukyo-u.ac.jp/>)、facebook「スポーツ振興室」(左下QRコード)で紹介しています。

「中京大学スポーツ」に関するご意見は、スポーツ振興室(sports@mng.chukyo-u.ac.jp)へお寄せください。

